

**金利上昇が懸念される『今』、
オーストラリア・ハイブリッド証券ファンドに注目！****概要**

- 今年に入り、本ファンドの利回りは上昇傾向にあり、投資魅力は増加
- 変動金利債を多く組入れており、懸念されている金利上昇局面においても安定的なパフォーマンスの実現が期待される
- 本ファンドは設定来で相対的に高い投資効率を実現、また主要資産全般と相関が概ね低く、投資資産に組入れることでポートフォリオ特性の改善が見込まれる

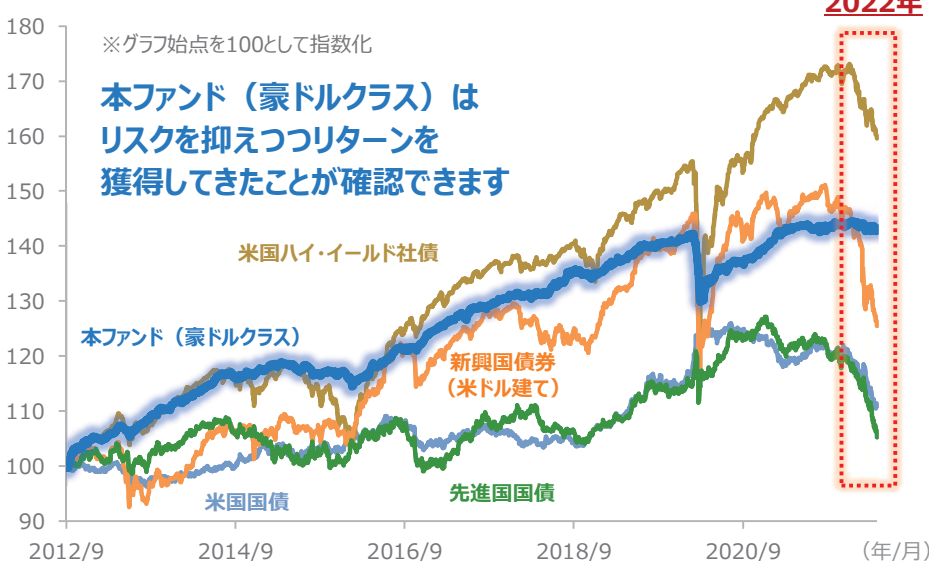
**はじめに****2022年、金利上昇懸念から多くの資産が軟調となるなかで、本ファンドは底堅く推移**

本ファンドは2020年、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くの資産と同様に調整を余儀なくされたものの、設定来では概ね堅調に推移しています。2022年初来では世界的に金利が上昇したことやロシア・ウクライナ問題が懸念されたことなどから、多くの資産が軟調な推移となったなかでも、本ファンドは設定来高値圏で底堅く推移しています。

2022年初来のパフォーマンスについて詳しくはP4をご確認ください。

本資料では、本ファンドのパフォーマンス特性や金利上昇局面への耐性などをご紹介します

本ファンドは、グローバルの主要資産と比べると、リスクを抑えつつリターンを獲得してきており、変動金利債中心の組入れであることから、足元の市場の懸念点である金利上昇局面下でも、安定的な資産形成が期待できます。本資料では、足元で本ファンドの利回りが上昇傾向にあり投資魅力が増加している点や、金利上昇局面でも堅調なパフォーマンスが実現できる理由、本ファンドのパフォーマンス特性などについてご紹介します。

本ファンド（豪ドルクラス）のパフォーマンス**本資料のご紹介内容**

- P1 はじめに
- P2 金利上昇に備える一つの選択肢「変動金利債」
- P3 本ファンドの相対的に良好なパフォーマンス特性
- P4 2022年、大きく軟調となる資産も多いなかで本ファンドは底堅く推移
- P5 運用チームのご紹介と今後の見通し
- P7 ご提供クラスと想定為替ヘッジ・プレミアム/コスト

期間：2012年9月26日（設定日）～2022年4月末 出所：ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

本ファンド（豪ドルクラス）は豪ドルベースで1口当たり分配金再投資純資産価格、それ以外は米ドルベース

上記の1口当たり分配金再投資純資産価格は管理報酬等費用（詳細は、後述の「お客さまの費用」をご参照ください。）控除後のものです。

1口当たり分配金再投資純資産価格は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

先進国国債：FTSE世界国債指数（除く日本）、米国国債：FTSE国債指数（米国）、新興国債券（米ドル建て）：JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、米国ハイ・イールド社債：ブルームバーグ米国ハイ・イールド社債指数

上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



金利上昇に備える一つの選択肢「変動金利債」

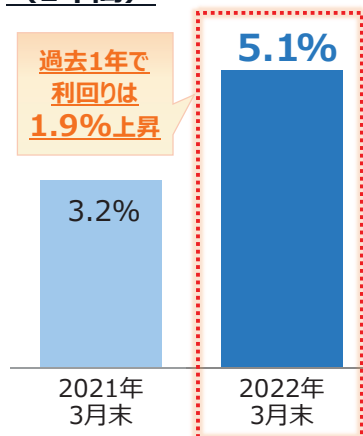
今年に入り、本ファンドの利回りは上昇傾向にあり、投資魅力は増加

今年に入り、各国・地域の金利は上昇傾向にあり、本ファンドの利回りも上昇しており、足元で5%を上回るなど投資魅力が増加しています。格付け対比でも、投資適格級でありながら相対的に高い利回り水準を有するオーストラリア・ハイブリッド証券は魅力的な資産の一つであると考えられます。

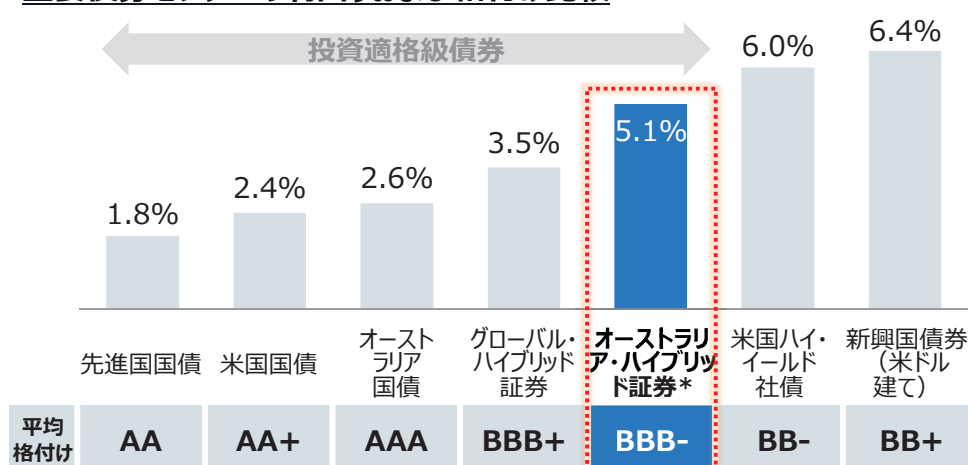
変動金利債を多く組入れ、過去の金利上昇局面では安定的なパフォーマンスを実現

ポートフォリオの金利上昇に対するリスクを軽減したいという投資家の方は多いのではないのでしょうか。本ファンドは、変動金利債が約8割を占めています（2022年3月末時点）。一般に債券価格は金利上昇局面で下落する傾向にあるものの、変動金利債は金利上昇局面で金利収入が増加するため価格が下落しにくく、これを活用することで、ポートフォリオの金利上昇への耐性の改善が見込めます。実際、本ファンド（豪ドルクラス）はオーストラリアの短期金利上昇/低下のいずれの局面においても、金利変動の影響を大きく受けず、概ね堅調に推移してきました。

本ファンドの利回りの変化 (1年間)

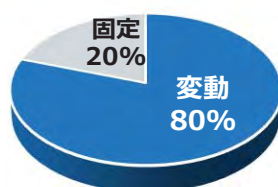


主要債券セクターの利回りおよび格付け比較



時点：2022年3月末 出所：ブルームバーグ、JPモルガン、FTSE、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 先進国国債：FTSE世界国債指数（除く日本）、米国国債：FTSE国債指数（米国）、オーストラリア国債：FTSE世界国債指数（オーストラリア）、グローバル・ハイブリッド証券：ブルームバーグ・グローバル・キャピタル証券指数、米国ハイ・イールド社債：ブルームバーグ米国ハイ・イールド社債指数、新興国債券（米ドル建て）：JPモルガンEMBIグローバル・ダイバシファイド *本ファンド、オーストラリア・ハイブリッド証券については本ファンドが投資対象とするマスター・ファンドのポートフォリオに組み入れられた証券の平均利回り（含むキャッシュ）および平均格付けです。本ファンドの分配金利回りおよび平均格付けではありません。また、オーストラリア・ハイブリッド証券およびグローバル・ハイブリッド証券の利回りは繰上償還利回りを表示しています。繰上償還利回りとは、証券の満期前に発行体より償還（コール）もしくは買い戻され、繰上償還日に投資家が償還金の支払いを受ける場合の利回りをいいます。繰上償還の実施は発行体の任意で行われるため、必ず繰上償還日に償還されるとは限りません。したがって、実際に得られる利回りは上図で示した利回りを大きく下回ることがあります。上記は、オーストラリア・ハイブリッド証券を除き、インデックスの利回りおよび平均格付けです。上記の格付けは、原則としてS&Pの格付けを採用しています。ムーディーズの格付けはS&Pの表記方法で記載しています。運用管理費用等の諸費用は考慮されておりませんので、実際の利回りは、将来大きく変動することがあります。インデックスに直接投資することはできず、取引コストや税金、流動性等の市場要因は考慮されておりませんので、実際の取引結果とは異なります。上記の数値は、ファンドの運用利回り等を示唆または保証するものではありません。

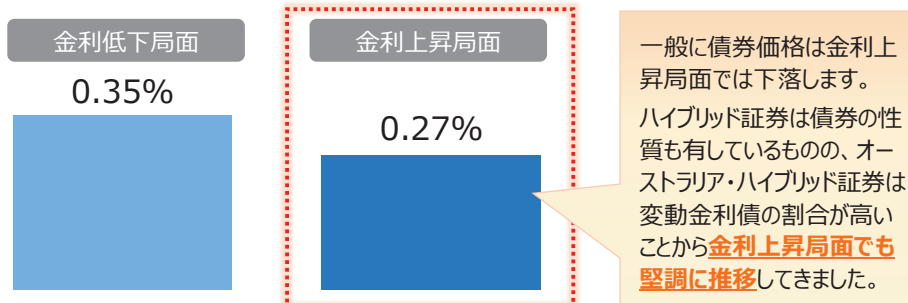
クーポン種別比率



<金利上昇時の変化>

	変動金利債	固定金利債
金利収入	増加	変化なし
債券価格	下落しづらい	下落

短期金利上昇/低下局面における本ファンドの平均月次騰落率



時点：2022年3月末
出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
上記は本ファンドが投資対象とするマスター・ファンドのデータ（対証券比率）です。

期間：2012年9月末～2022年4月末 出所：ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
本ファンド（豪ドルクラス）：GS オーストラリア・ハイブリッド証券ファンド豪ドルクラス（1口当たり分配金再投資純資産価格、豪ドル・ベース）、上記の1口当たり分配金再投資純資産価格は管理報酬等費用（詳細は、後述の「お客さまの費用」をご参照ください。）控除後のものです。1口当たり分配金再投資純資産価格は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。金利上昇/低下局面はオーストラリア3か月物金利のデータを用いて月次で判定しています。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。上記の数値は、ファンドの運用利回り等を示唆または保証するものではありません。



本ファンドの相対的に良好なパフォーマンス特性

相対的に高い投資効率などからポートフォリオ特性の改善に役立つものと思料

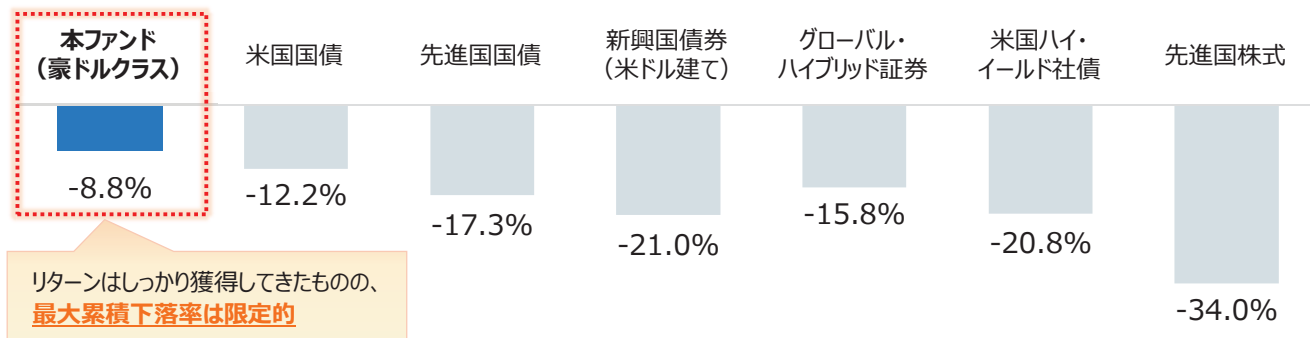
本ファンドは、年率リスクは低水準かつ最大累積下落率は限定的にしつつも、しっかりとリターンを獲得しており、主要資産と比較して相対的に高い投資効率を実現してきました。

また、昨今、経済のグローバル化・ボーダレス化の進展から多くの資産間で相関が高まっており、複数の資産に分散して投資を行ったとしても、リスクの分散につながりにくくなっています。このような環境下で、相関の低い投資先の需要は高まっていると考えられ、国債との相関が低水準で、その他株式などのリスク資産との相関もそれほど高くない本ファンドは、投資家の皆様のポートフォリオの分散に寄与することが見込まれます。

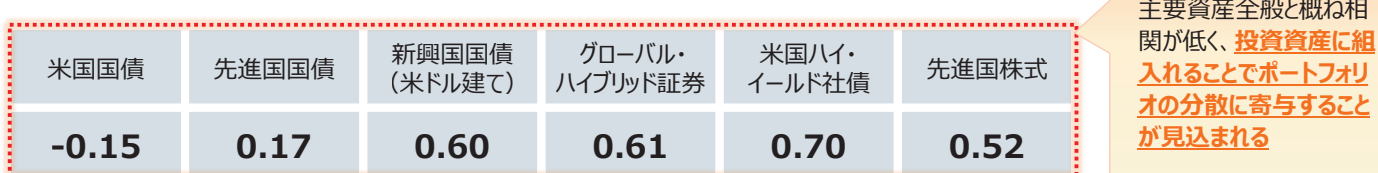
本ファンド（豪ドルクラス）と主要資産の投資効率（年率リターン÷年率リスク）



本ファンド（豪ドルクラス）と主要資産の最大累積下落率



本ファンド（豪ドルクラス）と主要資産の相関（月次ベース）



【上・中グラフ】期間：2012年9月26日（設定日）～2022年4月末 【下表】期間：2012年9月末～2022年4月末

出所：ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

本ファンド（豪ドルクラス）は豪ドル・ベースで1口当たり分配金再投資純資産価格、それ以外は米ドル・ベース。上記の1口当たり分配金再投資純資産価格は管理報酬等費用（詳細は、後述の「お客さまの費用」をご参照ください。）控除後のものです。1口当たり分配金再投資純資産価格は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。米国国債：FTSE国債指数（米国）、先進国国債：FTSE世界国債指数（除く日本）、新興国債券（米ドル建て）：JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、グローバル・ハイブリッド証券：ブルームバーグ・グローバル・キャピタル証券指数、米国ハイ・イールド社債：ブルームバーグ・米国ハイ・イールド社債指数、先進国株式：MSCIワールド指数（配当込み）

* 年率リターンは日次リターンの累積を年率換算、年率リスクは日次リターンの標準偏差を年率換算して算出しています。リスクとはリターンのばらつきの大きさを意味し、一般に標準偏差をもって表されます。* 投資効率とは、年率リスク（標準偏差）1単位当たりの年率リターンを測るもので、数値が高いほど取ったリスクに対して得られたリターンが高いこと（効率よく収益が得られたこと）を意味します。

最大累積下落率とは、当該期間における最高値からの最大下落率を示します。相関とは、各資産・銘柄などの値動きの連動性を表す指標です。1から-1までの数値で表され、1に近い場合には、一方の上昇率（下落率）が大きくなると、他方の上昇率（下落）も大きくなる傾向が強く、-1に近い場合その逆の傾向となります。

上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。最大累積下落率は過去のデータに過ぎません。実際には、投資元本の大幅な毀損や全損が生じる場合があります。



2022年、大きく軟調となる資産も多いなかで本ファンドは底堅く推移

2022年初来、世界的に金利が上昇したことなどから金融市場は変動性の高い展開に

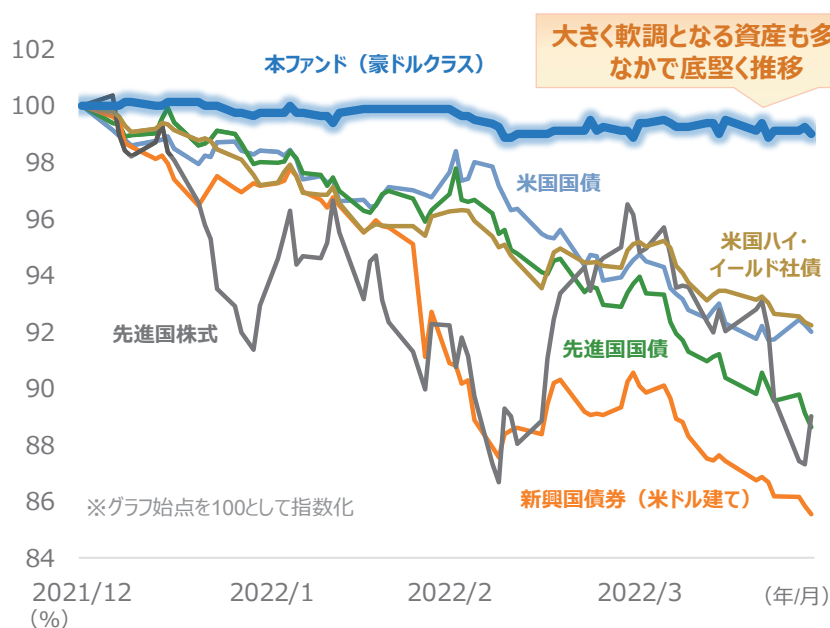
2022年初から4月末まででは、FRB（米連邦準備制度理事会）が利上げを実施したことを背景に米国10年国債利回りが約1.4%上昇するなど、世界的に金利が上昇したことや、ロシア・ウクライナ問題などが懸念され、株式・債券をはじめとする多くの資産が軟調な推移となりました。

このような環境下でも本ファンドは投資対象の特性が奏功し底堅く推移

このような環境下で、本ファンドは小幅に下落したものの、他資産と比較すると底堅く推移しています。この背景には本ファンドが、金利上昇局面で価格が下落にくい変動金利債を中心に組入れていること、またオーストラリアがロシア・ウクライナ問題から受ける影響が限定的であることがあります。

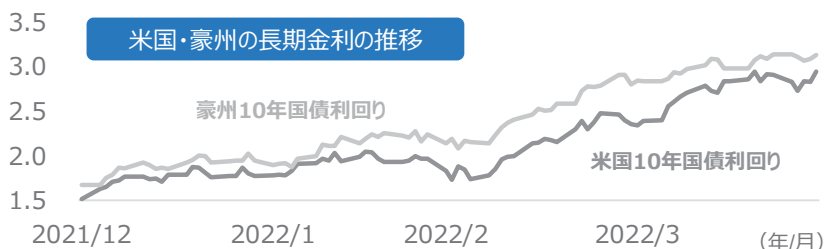
なお、本ファンドの小幅な下落は、世界的な投資家のリスク回避姿勢の高まりがスプレッド（オーストラリア国債に対する上乗せ金利）拡大に繋がった結果の下落であり、本ファンドの投資対象であるオーストラリア・ハイブリッド証券のファンダメンタルズや信用格付けは引き続き強い状況が保たれています。

本ファンド（豪ドルクラス）のパフォーマンス



2022年初来の騰落率

本ファンド（豪ドルクラス）	-1.0 %
米国ハイ・イールド社債	-7.8 %
米国国債	-8.0 %
先進国株式	-11.0 %
先進国国債	-11.4 %
新興国債券（米ドル建て）	-14.4 %



<2022年初来の金利上昇幅>

1.42 %	1.46 %
米国10年国債利回り	豪州10年国債利回り

期間：2021年12月末～2022年4月末 出所：ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

本ファンド（豪ドルクラス）は豪ドル・ベースで1口当たり分配金再投資純資産価格、それ以外は米ドル・ベース

上記の1口当たり分配金再投資純資産価格は管理報酬等費用（詳細は、後述の「お客さまの費用」をご参照ください。）控除後のものです。

1口当たり分配金再投資純資産価格は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

先進国国債：FTSE世界国債指数（除く日本）、米国国債：FTSE国債指数（米国）、新興国債券（米ドル建て）：JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、米国ハイ・イールド社債：ブルームバーグ米国ハイ・イールド社債指数、MSCIワールド指数（米ドル・ベース）

騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。



運用チームのご紹介と今後の見通し①



ローカル・マーケットを熟知した経験豊富な運用チーム

本ファンドの実質的な運用を行うヤラ・ファンズ・マネジメントは、元々はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントのオーストラリア拠点でした。運用担当者のロイ・キーナン氏は30年以上にわたりオーストラリア・ハイブリッド証券をはじめとしたクレジット資産の運用/トレーディングに従事しています。同氏が属する、ローカル・マーケットを熟知した運用チームが現地にて本ファンドの運用を行っております。

オーストラリア・ハイブリッド証券の運用者はそう多くありません。そのなかでも**ロイ氏は15年以上の豊富な運用経験を有しており、その存在は市場でも幅広く知られ、証券会社からの情報提供面において優位性を有しています。**



ポートフォリオ・マネージャー
ロイ・キーナン氏

オーストラリアがロシア・ウクライナ問題から受ける影響は限定的

オーストラリアは地理的にウクライナと距離があることなどから、ロシア・ウクライナ問題から受ける影響は限定的であり、足元の投資環境ではその点も投資魅力となると考えています。

- ✓ オーストラリアは他の先進国と比較してもロシアとの輸出・輸入の割合が低位にとどまっています。
- ✓ オーストラリアはロシア・ウクライナ問題を背景に価格が上昇傾向にある天然ガスや鉄鉱石、農作物などのコモディティの輸出国であり、恩恵を受けています。
- ✓ コモディティ価格の上昇に伴ってオーストラリアの財政見通し、交易条件なども恩恵を受けており、今後の経済成長を支える景気刺激策を導入できるだけの財政状況にあるとみられます。

以上より、オーストラリアは他の先進国と比較して比較的 안전한投資環境であると考えられます。他の先進国、特に欧州はロシア・ウクライナ問題と地政学的に影響を受けやすいことに加え、コモディティ価格の上昇からの経済的な打撃も受けており、今後の景気後退リスクはオーストラリアと比較して高いとみられます。

オーストラリアの輸出相手国の割合

	国名	比率
1	中国	31.2%
2	日本	18.2%
3	韓国	10.0%
4	台湾	6.0%
5	インド	5.6%
⋮	⋮	⋮
25	 ロシア	0.3%

時点：2021年12月 出所：IMF eLibrary Data

オーストラリアの輸入相手国の割合

	国名	比率
1	中国	30.6%
2	米国	8.6%
3	日本	7.3%
4	タイ	5.2%
5	韓国	4.8%
⋮	⋮	⋮
38	 ロシア	0.3%

時点：2021年12月 出所：IMF eLibrary Data



運用チームのご紹介と今後の見通し②

オーストラリアでは11年半ぶりの利上げを決定、今後も利上げ局面が続く

オーストラリアの金融政策に関しては、RBA（豪州準備銀行）が2月に債券購入プログラムでの新規の政府債の買い入れを終了することを決定し、その後4月の会合ではこれまでの利上げに対する慎重な姿勢が取り下げられていました。

その後、5月3日、RBAはインフレ抑制をめざし、政策金利を0.25%引き上げて0.35%とすることにし、11年半ぶりとなる利上げを決定しました。RBAは声明で「金融の正常化を始めるのが適切」としており、今後の追加の利上げも示唆しています。

オーストラリア・ハイブリッド証券のファンダメンタルズは良好

オーストラリア・ハイブリッド証券の主な発行体である、オーストラリアの銀行は、バランスシートが強固であることや借入が低水準であることなどから、足元の市場変動に耐えうると考えています。

2022年初来、世界的に多くの金融資産が軟調に推移していますが、オーストラリアの金融市場での売りの多くが企業のファンダメンタルズとは無関係です。その結果、オーストラリア・ハイブリッド証券のバリュエーションは魅力的な水準になっています。

本ファンドでは利上げを見込んだポートフォリオを構築、今後の良好なパフォーマンスを期待

本ファンドでは、利上げ局面において多くの収益を生み出す事ができるようにポジショニングをしております。本ファンドで組入れている変動利付債は、利回りが長期金利ではなく短期金利に連動するものがメインとなっており、利上げ局面で投資魅力が増すものと考えられます。また、リスク対比での期待リターンの高さからTier1よりもTier2を選好しています。

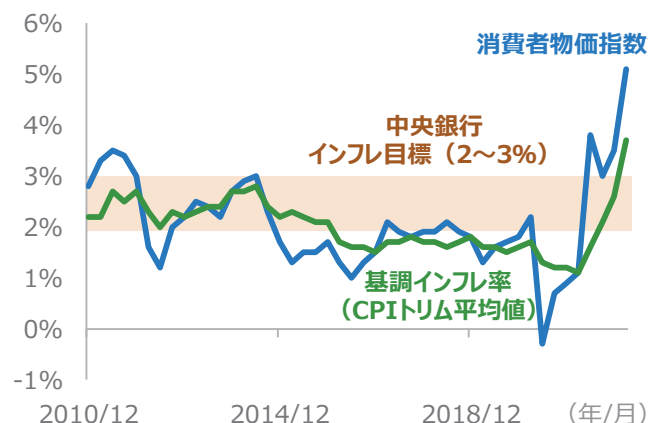
なお、豪ドルに関しては、商品市況が好調であることから、今後堅調に推移する可能性を見込んでいます。

オーストラリアの政策金利と10年国債利回り



期間：2010年12月末～2022年5月3日
出所：ブルームバーグ

オーストラリアのインフレ率の推移（前年比）



期間：2010年12月末～2022年3月末
出所：ブルームバーグ



本ファンドのご提供クラス

本ファンドでは、ご投資家のニーズに合わせて、4つのクラスからお選びいただけます。

各クラスの概要

	ファンド 購入通貨	投資対象の 通貨	為替ヘッジ	実質的な為替リスク (購入通貨から見たリスク)	3カ月物 短期金利差*
豪ドルクラス	豪ドル	豪ドル	なし	なし	-
円クラス (為替ヘッジあり)	円	豪ドル	あり (円⇄豪ドル)	原則なし	-0.64% (為替ヘッジ・コストの 目安)
米ドルクラス	米ドル	豪ドル	なし	豪ドル/米ドル ※豪ドル高 (対米ドル) になると 1口当たり純資産価格は上昇	-
米ドルクラス (為替ヘッジあり)	米ドル	豪ドル	あり (米ドル⇄豪ドル)	原則なし	0.13% (為替ヘッジ・プレミアムの 目安)

2022年4月末時点

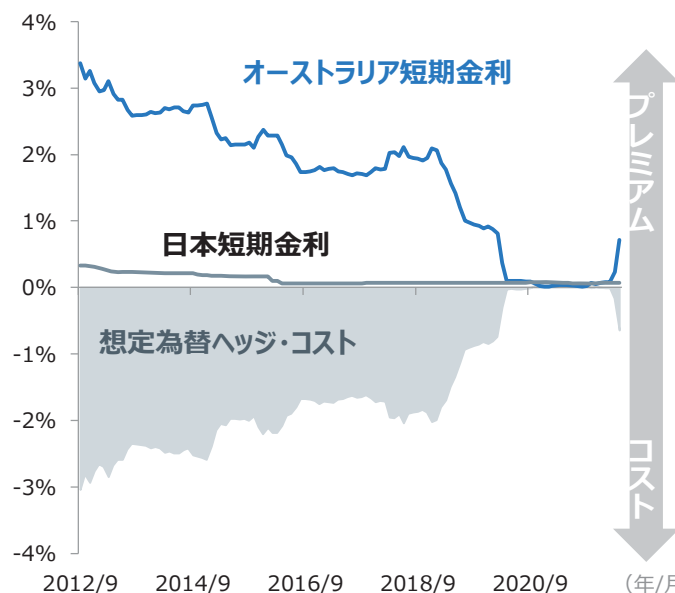
*ファンド購入通貨の短期金利から豪ドル短期金利を引いた短期金利差は、想定為替ヘッジ・プレミアム/コストの目安となります。



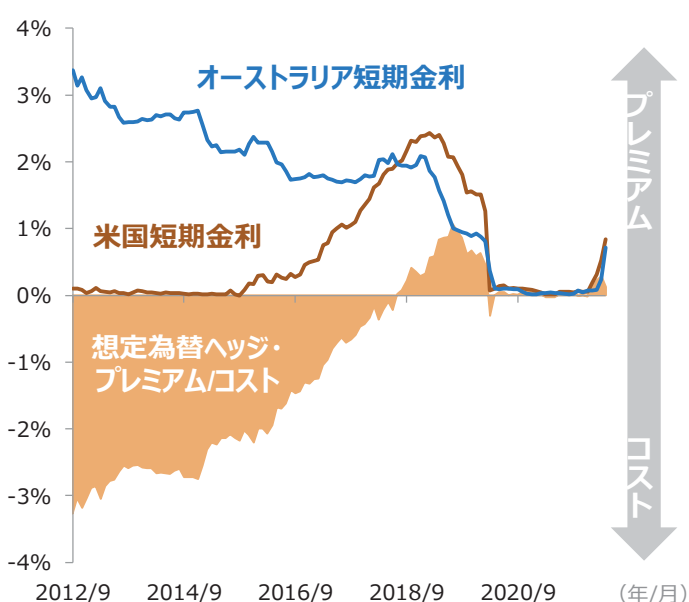
想定為替ヘッジ・プレミアム/コスト

円クラス（為替ヘッジあり）および米ドルクラス（為替ヘッジあり）で為替ヘッジを行う際には、各通貨の短期金利差が為替ヘッジ・プレミアム/コストの目安となります。

円クラス（為替ヘッジあり）の 想定為替ヘッジ・プレミアム/コストの推移



米ドルクラス（為替ヘッジあり）の 想定為替ヘッジ・プレミアム/コストの推移



期間：2012年9月末～2022年4月末 出所：ブルームバーグ

円クラス（為替ヘッジあり）の想定為替ヘッジ・プレミアム/コストは、円3カ月物金利からオーストラリア3カ月物金利を引いた日豪短期金利差から算出しています。

米ドルクラス（為替ヘッジあり）の想定為替ヘッジ・プレミアム/コストは、米国3カ月物金利からオーストラリア3カ月物金利を引いた米豪短期金利差から算出しています。

上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

分配金に関する留意事項

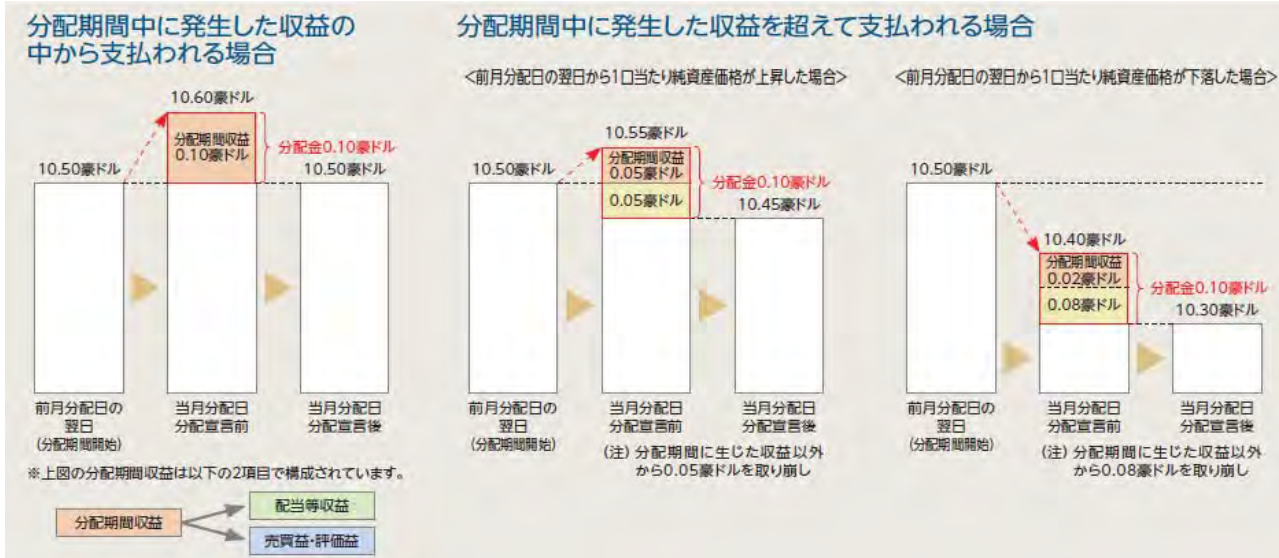
分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、1口当たり純資産価格は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



分配金は、分配期間^(注)中に発生した収益(投資対象資産から生じる利息および配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当月分配日の1口当たり純資産価格は前月分配日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも分配期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(注) 分配期間とは、分配日の翌日から次の分配日までの期間を指します。



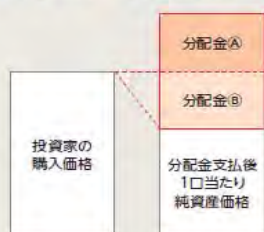
*上記はイメージであり、実際の分配金額や1口当たり純資産価格を示唆するものではありませんのでご注意ください。

*上記は便宜的に豪ドルでのみ表示していますが、米ドルクラス、米ドルクラス(為替ヘッジあり)および円クラス(為替ヘッジあり)の場合も同様です。

分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合がありますので、元本の保全性を追求される投資家の場合には、市場の変動等に伴う組入資産の価値の減少だけでなく、収益分配金の支払いによる元本の払戻しにより、本ファンドの1口当たり純資産価格が減価することに十分ご注意ください。

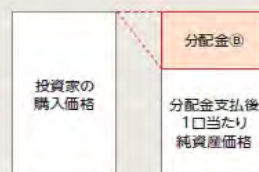
投資家のファンドの受益証券の購入価格によっては、以下のとおり、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。この場合、当該元本の一部払戻しに相当する部分も分配金として分配課税の対象となります。ファンド購入後の1口当たり純資産価格の値上がり、支払われた分配金額より小さかった場合も実質的に元本の一部払戻しに相当することがあります。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※購入価格を上回る部分(分配金(A))に加え、下回る部分(分配金(B))も分配金として課税対象となります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※購入価格を下回る部分(分配金(B))も分配金として課税対象となります。

(注) 分配金に対する課税については、交付目論見書の「手続・手数料等」の「税金」をご参照ください。

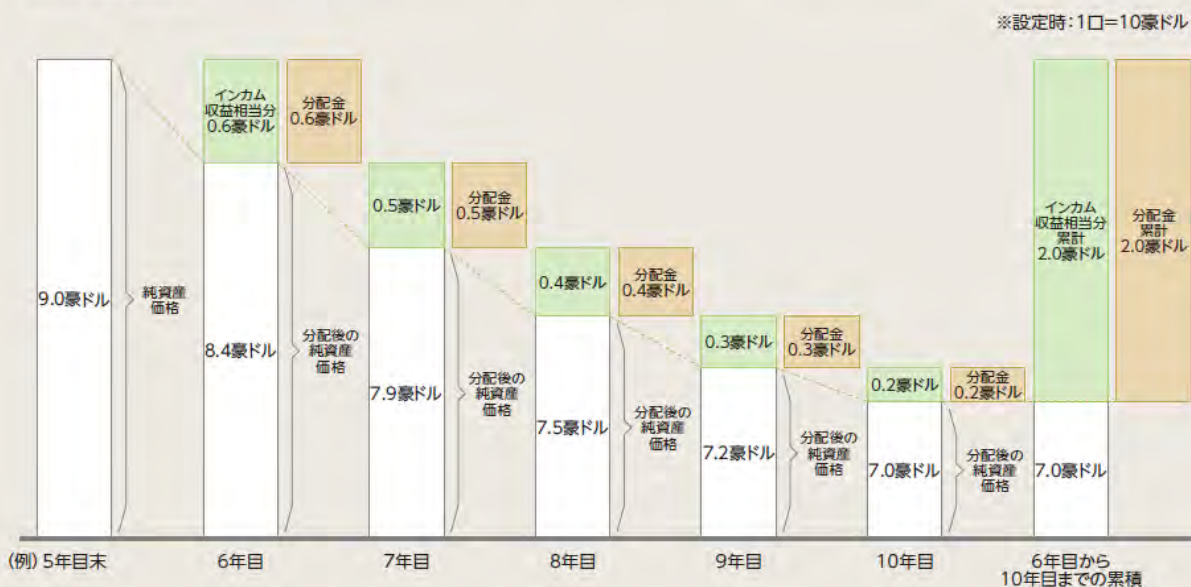
※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

分配金に関する留意事項(続き)

数年間にわたって純資産価格が下落した場合

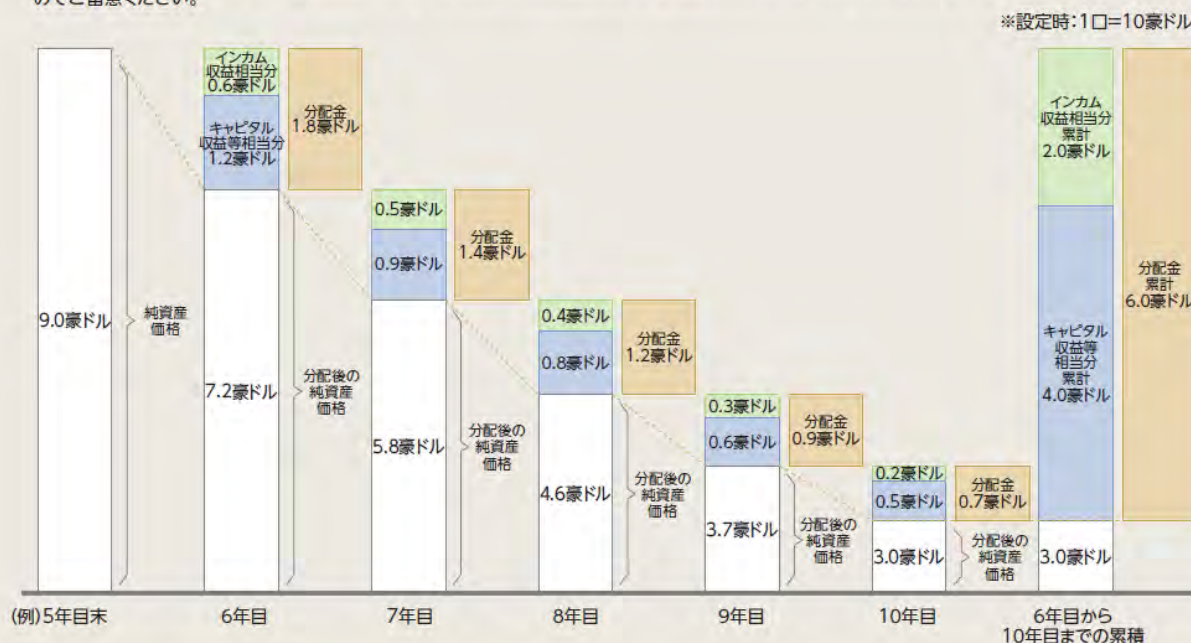
①インカム収益を中心に分配する場合 ※年間のリターン(税引前分配金込み)が0%と仮定

※この図では、年間のリターンを一定と仮定していますが、実際の純資産価格は市場変動等により大きく下落することがあり、また、分配金額等は変動しますのでご注意ください。



②インカム収益に加え、キャピタル収益等も分配する場合 ※年間のリターン(税引前分配金込み)が0%と仮定

※この図では、年間のリターンを一定と仮定していますが、実際の純資産価格は市場変動等により大きく下落することがあり、また、分配金額等は変動しますのでご注意ください。



(注) 上図はイメージ図であり、実際の分配金額や純資産価格を示唆するものではありませんのでご注意ください。

上図は①インカム収益を中心に分配した場合と、②インカム収益に加えてキャピタル収益等も分配した場合の純資産価格の変動を示しています。例えば、①の6年目では1年間に得たインカム収益を中心に分配を支払ったため、その分純資産価格が下落しています。一方、②では、インカム収益に加えてキャピタル収益等相当分を分配したため、①と比較するとその分さらに純資産価格が下落しています。②の6年目から10年目までに受益者は合計で6.0豪ドル(インカム収益相当分2.0豪ドル+キャピタル収益等相当分4.0豪ドル)の収益分配を受領し、純資産価格は3.0豪ドルになっています。上図の②において、キャピタル収益等を支払わなかった場合、累計でみた分配落ち後の純資産価格は7.0豪ドル(3.0豪ドル+4.0豪ドル)になります。

インカム収益相当分
キャピタル収益等相当分
分配金
分配後の純資産価格

※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

ファンドの特色

1. 本ファンドは、主として豪ドル建てのハイブリッド証券(期限付劣後債、永久劣後債、優先証券)および普通社債等に分散投資を行い、利子収入(インカム・ゲイン)と債券元本部分の売買益および評価益(キャピタル・ゲイン)の獲得をめざします。

■実質的な運用はマスター・ファンド(アイルランド籍外国投資法人ゴールドマン・サックス・インスティテューショナル・ファンズ・ピーエルシー - オーストラリア・エンハンスド・インカム・ファンドⅡ)を通じて行います。

2. 4つの通貨クラスからお選びいただけます。



米ドルクラス:(米ドル建て)豪ドル建て資産に対する為替ヘッジは原則として行いません。



米ドルクラス(為替ヘッジあり):(米ドル建て)豪ドル建て資産に対して原則として対米ドルで為替ヘッジを行います。



豪ドルクラス:(豪ドル建て)為替ヘッジは原則として行いません。

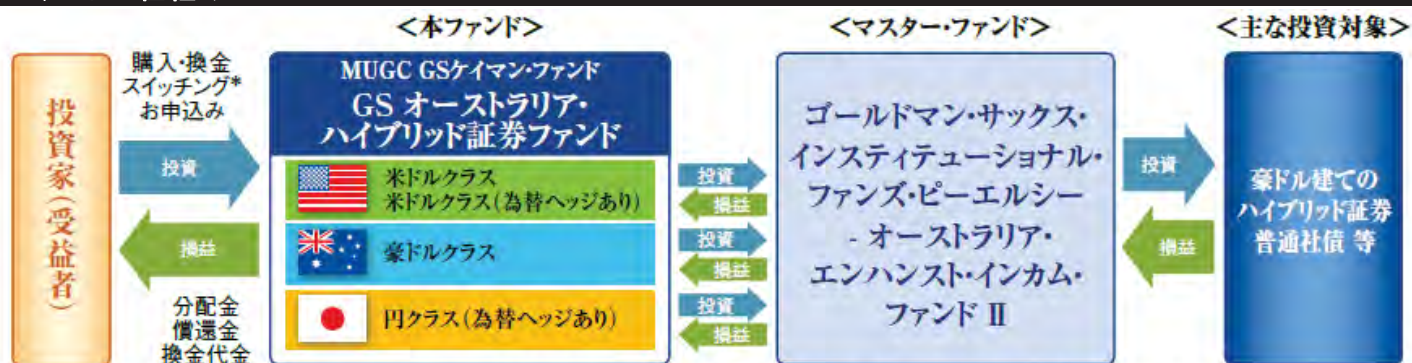


円クラス(為替ヘッジあり):(円建て)豪ドル建て資産に対して原則として対円で為替ヘッジを行います。

3. 原則として、毎月10日(ファンド営業日でない場合は翌ファンド営業日)に収益の分配が行われます。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。
運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

ファンドの仕組み



上記は本ファンドの仕組みのイメージ図であり、すべてを説明しているわけではありません。損益はすべて投資家である受益者に帰属します。

*販売会社によっては、米ドルクラス受益証券、豪ドルクラス受益証券、円クラス(為替ヘッジあり)受益証券および米ドルクラス(為替ヘッジあり)受益証券の各クラス受益証券間でスイッチングが可能です。くわしくは販売会社までお問い合わせください。

管理会社、その他関係法人(大和証券でお申込みの場合)

管 理 会 社: ルクセンブルク三菱UFJインベスターサービス銀行S.A.
副 管 理 会 社: MUFGルクスマネジメントカンパニーS.A.
投 資 顧 問 会 社: ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル
副 投 資 顧 問 会 社: ヤラ・ファンズ・マネジメント・リミテッド
受 託 会 社: ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスト・カンパニー(ケイマン)リミテッド
保管会社・管理事務代行会社および名義書換事務代行会社: ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー
代 行 協 会 員: ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
販 売 会 社: 大和証券株式会社 他

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社 ホームページ・アドレス: www.gsam.co.jp

※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

投資リスク

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドが投資するマスター・ファンドは、豪ドル建てで発行される、ハイブリッド証券および普通社債を主な投資対象としています。これにより、金利変動等による組入証券の価格の下落や、発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、1口当たりの純資産価格が下落し、損失を被ることがあります。

なお、円クラス(為替ヘッジあり)以外の外貨建てクラスの場合、当該通貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動により、円換算ベースでは投資元本を割り込むことによる損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、1口当たりの純資産価格の下落や為替相場の変動により、投資元金が割り込み損失を被ることがあります。運用による損益はすべて投資家の皆さまに帰属します。

信用リスク

債券の発行体の信用力の変化や格付けの変更により、債券価格が変動したり、財政上の問題、経営不振、その他の理由により、利息や元本があらかじめ決められた条件で支払われなくなる(債務不履行)があります。信用力の低下、格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合、通常、債券価格は下落し、その結果、本ファンドの純資産価額が下落する可能性があります。

流動性リスク

有価証券などを売買しようとする場合、需要または供給が乏しいために、資産を、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができないリスクをいいます。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合には、本ファンドの純資産価額が下落する可能性があります。本ファンドが実質的に投資対象とするハイブリッド証券は、一般に市場における流動性が相対的に少ないため、市況によっては大幅な安値での売却を余儀なくされる可能性があることから、大きなリスクを伴います。

金利変動リスク

金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、本ファンドの純資産価額が下落する可能性があります。

ハイブリッド証券の投資リスク

ハイブリッド証券への投資には、普通社債への投資と比較して、次のような固有のリスクがあり、価格変動リスクや信用リスクは相対的に大きいものとなります。

①劣後リスク(法的弁済順位が劣後するリスク)

一般にハイブリッド証券の法的な弁済順位は株式に優先し、普通社債より劣後します。したがって、発行体が破綻等に陥った場合、他の優先する債権が全額支払われない限り、元利金の支払いを受けることができません(法的弁済順位の劣後)。またハイブリッド証券は一般に普通社債と比較して低い格付けが格付機関により付与されていますが、その格付けがさらに下落する場合には、ハイブリッド証券の価格が大きく下落する可能性があります。

②繰上償還延期リスク

一般にハイブリッド証券には、満期日のある期限付劣後債や、満期日のない永久劣後債、優先証券などがあります。ただし、これらの証券には一般に繰上償還(「コール」と呼ぶことがあります。)条項が付与されており、繰上償還日に償還されることを前提として取引されています。市場環境等の要因によって、予定された期日に元本の繰上償還が実施されなかった場合、あるいは繰上償還されないと見込まれる場合には、当該証券の価格が大きく下落する可能性があります。

③利払い変更リスク

一般にハイブリッド証券には、利息または配当の変更条項を有する証券があります。これらの証券においては、発行体の財務状況や収益動向等の要因によって、利息または配当が支払われない可能性や支払いが繰延べられる可能性があります。

④規制環境の変化に関するリスク

ハイブリッド証券は、規制当局や格付機関の認定基準に依存しており、当該規制や基準の変更がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

為替変動リスク

外貨建てクラスの場合、各表示通貨では投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動により、円換算ベースでは投資元本を割り込むことによる損失を被ることがあります。円クラス(為替ヘッジあり)は、円に対する豪ドルの為替変動がヘッジされるように、また米ドルクラス(為替ヘッジあり)は、米ドルに対する豪ドルの為替変動がヘッジされるようにめざしますが、為替ヘッジ取引が効果的である保証はありません。その結果、円クラス(為替ヘッジあり)および米ドルクラス(為替ヘッジあり)は、豪ドルで発行された投資対象(サブ・ファンドの資産)との間の為替変動の影響を受ける場合があります。サブ・ファンドの資産は豪ドル建てです。よって、米ドルクラスの価値は、組入資産のパフォーマンスにかかわらず、米ドル/豪ドルの為替変動の影響を受けます。

※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

お申込みメモ(大和証券でお申込みの場合)

■ファンド概要

設 定 日	米ドルクラス、豪ドルクラス、円クラス(為替ヘッジあり):2012年9月26日、米ドルクラス(為替ヘッジあり):2018年3月28日
信 託 期 間	2027年9月30日まで
ファンド営業日	ロンドン、ニューヨーク、シドニー、メルボルンおよび東京において銀行が営業している日で、かつ、ロンドン証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびオーストラリア証券取引所が営業をしている日、または管理会社および受託会社が定める日
収 益 分 配	原則として、毎月10日(ファンド営業日でない場合は翌ファンド営業日)に収益の分配が行われます。 ※運用状況によっては分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■購入

購 入 申 込	毎ファンド営業日の午後3時まで受付けます。
購 入 価 格	購入申込日の翌ファンド営業日の1口当たり純資産価格
購 入 単 位	1口以上1口単位
払 込 期 日	国内約定日(販売会社が購入注文の成立を確認した日)から起算して4国内営業日目

■換金(買戻し)

換 金 申 込	毎ファンド営業日の午後3時まで受付けます。
換 金 価 格	換金申込日の翌ファンド営業日の1口当たり純資産価格
換 金 単 位	1口以上1口単位
お 支 払 日	国内約定日(販売会社が換金(買戻し)注文の成立を確認した日)から起算して4国内営業日目
換 金 制 限	大量の換金(買戻し)が請求された場合など一定の状況において、換金が制限または停止されることがあります。

■スイッチング

大和証券では、スイッチングのお取扱いはありません。

■お客さまの費用

購 入 時 の 費 用

購 入 時 手 数 料 申込口数に応じて、下記の手数料率を購入価格に乗じて得た額とします。

<米ドルクラス/米ドルクラス(為替ヘッジあり)/豪ドルクラス>		<円クラス(為替ヘッジあり)>	
申込口数	手数料率	申込口数	手数料率
1万口未満	2.2%(税抜2.0%)	1,000口未満	2.2%(税抜2.0%)
1万口以上10万口未満	1.1%(税抜1.0%)	1,000口以上1万口未満	1.1%(税抜1.0%)
10万口以上100万口未満	0.55%(税抜0.5%)	1万口以上10万口未満	0.55%(税抜0.5%)
100万口以上	無手数料	10万口以上	無手数料

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運 用 管 理 費 用 純資産総額に対して **年率上限1.73%** (投資顧問報酬0.80%、販売会社報酬0.80%、管理報酬0.05%、受託報酬(管理報酬等)0.01%、代行協会員報酬0.03%、管理事務代行報酬および名義書換事務代行報酬上限0.04%) ががかかります。

そ の 他 の 費 用 ・ 手 数 料 設立費用、監査費用、弁護士費用、印刷費用、有価証券売買時の売買委託手数料、保管費用等
本ファンドは、マスター・ファンドの無報酬クラスに投資しており、マスター・ファンドの投資顧問報酬は負担ませんが、その他の報酬(年率0.06%を上限とする管理事務代行報酬および保管報酬が含まれます。)および費用を負担します。
上記その他の費用・手数料は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

換 金 時 の 費 用

換 金 手 数 料	なし
信 託 財 産 留 保 額	なし

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

為 替 に 関 す る 留 意 点

本ファンドの購入・換金にあたり、円貨と外貨を交換する際には、販売会社の決定する為替レートによるものとします。くわしくは、販売会社にご確認ください。

税 金

分配金、換金代金、償還金には税金(課税対象の場合)がかかります。本ファンドは、税法上、公募外国株式投資信託として取扱われます。

※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

本資料のご利用にあたってのご留意事項等

- ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社およびゴールドマン・サックス・グループで投資運用業務を行う関係法人を総称して「ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント」あるいは「GSAM」と呼ぶことがあります。
- 本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント(以下「当社」といいます。)が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、1口当たりの純資産価格は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。また、外貨建てクラスの場合、各表示通貨では投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動により、円換算ベースでは投資元本を割り込むことによる損失を被ることがあります。
- 本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。
- 本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。
- 個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。
- 本資料に記載された経済、市場等に関する予測は、資料作成時点での様々な仮定や判断を反映するものであり、今後予告なく変わる可能性があります。これらの予測値は特定の顧客の特定の投資目的、投資制限、税制、財務状況等を考慮したものではありません。実際には予測と異なる結果になる可能性があり、本資料中に反映されていない場合もあります。これらの予測は、将来の運用成果に影響を与える高い不確実性を伴うものです。したがって、これらの予測は、将来実現する可能性のある結果の一例を示すに過ぎません。これらの予測は一定の前提に基づく推定であり、今後、経済、市場の状況が変化するのに伴い、大きく変わることが考えられます。ゴールドマン・サックスはこれら予測値の変更や更新について公表の義務を有しません。
- 投資信託は預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。
- 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。
- 本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本STO協会

■ 設定・運用は

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

商号等 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会